

家畜衛生だより



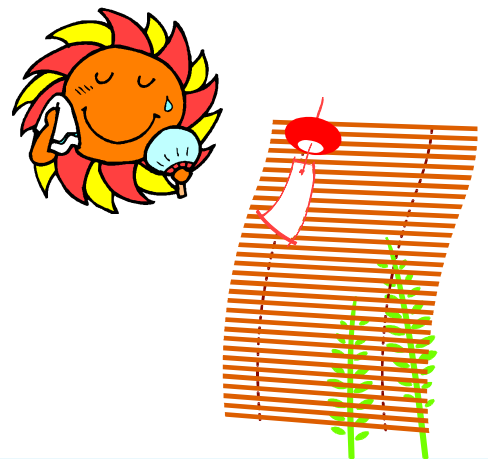
令和元年6月第11号(牛・めん山羊・鶏)
東部・北部家畜防疫獣医師会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

適切な暑熱対策を！

今年も暑い夏がやってきます。気象庁の予報によると、関東甲信地方の7～9月の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多い見込みです。家畜の生産性を維持するために、家畜が過ごしやすい環境を整えましょう！

畜舎編

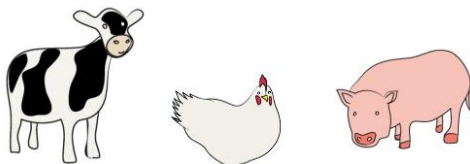
- 畜舎外から畜舎温度を下げる
 - ・樹木や遮光ネット、よしずによる日よけ
 - ・屋根への石灰乳の塗布
- 畜舎内から畜舎温度を下げる
 - ・換気扇や扇風機での送風
 - ・畜体への直接散水



飼養管理編

- 密飼いは避ける
- 生産適温域の確認

家畜の種類によって過ごしやすい体感温度は違います。畜舎内に温度計を設置し、生産性を維持できる適温域に入っているか確認しましょう！



おもな家畜の適温域

牛	育成牛	10～25℃
	泌乳牛	5～20℃
	肉用牛	5～25℃
豚	繁殖豚	10～25℃
	肥育豚	10～25℃
鶏	採卵鶏	20～30℃
	肉用鶏	15～25℃

飼料給与編

- 良質で消化率の高い飼料の給与
- 清潔で冷たい水が十分に飲めるようにする
- 必要に応じ、ビタミン・ミネラルの補給

ハエ対策を行いましょ！

【ハエが与える影響】



- ・家畜のストレスによる、生産性低下。
- ・病原菌やウイルスの媒介。
- ・近隣からの苦情。

【ハエが発生する時期】

ハエの発生は6～7月をピークに8月は若干減少し、秋口に再び増加します。ハエの発生が本格的になる前に対策を実施しましょう。

【ハエ対策】

<ライフサイクル>



たまご

1日



幼虫(ウジ)

7日



さなぎ

4～5日



成虫

たまごの対策

●こまめな除糞、清掃

ハエは糞や残飼料を好んで産卵します。こまめな除糞と清掃を心がけましょう。

●適切な堆肥化

ハエの卵は40℃以上で孵化以前に死亡します。堆肥を定期的に切り返して発酵熱を出しましょう。

幼虫の対策

●昆虫発育抑制剤(IGR剤)の使用

発生源となる堆肥舎、畜舎の隅、糞尿が溜まる場所に均一に散布しましょう。

この薬剤を幼虫が食べると成虫になることができなくなります。

1か月間隔で定期的に散布することが、効果的です。

幼虫は成虫の4倍もいると言われているので、幼虫対策から取り組むことが効果的です。

成虫の対策

●殺虫剤の使用

ハエの大量発生シーズンは、殺虫剤の空間散布に即効性があります。ただし、殺虫剤に対して抵抗性をもつハエが生じやすいので、最低限の使用にしてください。また、昼、晴天時に散布すると周りに飛んで逃げ、苦情の原因になります。夕方～朝と雨天の日に行うのが効果的です。

●毒餌(ベイト剤)の使用

有効成分を直接口から摂取するため効果的で、抵抗性もできにくいと言われています。

家畜の様子がおかしいな、と思ったら…

東部家畜保健衛生所

Tel.0475-52-4101

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください